

Ⅱ. 基本的方向と具体的な事業

基本目標1 安定した雇用を創出する

(1) 産業の競争力強化

- 1) 農作物のブランド化の推進
- 2) 6次産業化の取り組みの推進
- 3) 商工業振興策の実施

(2) 人材育成、雇用対策

- 1) 農業の担い手の確保・育成
- 2) 医療従事者の確保・育成
- 3) 介護従事者の確保・育成
- 4) 企業立地等の促進による就労の拡大
- 5) ICTを活用した子どもの育成
- 6) 地元企業と連携したキャリア教育の実施 **ワーク・ライフ・バランスとキャリアデザインの推進**

~~・高校生及び保護者が砂川の企業を知り、働く意義を考える事業を高校と連携して行なうことで、キャリア教育の推進や地域の担い手となる労働者の確保、雇用の創出、若者の定着を促進する。~~

・企業における人材育成ネットワークの構築を図るとともに、地元企業を知る機会や働くことを考える機会の提供を行い、高校生の地元定着や大学生、UIJターンなど市外からの労働者の確保を促進し雇用創出を図る。

| 具体的な事業 | 重要業績評価指標 (KPI) |
|--|--|
| ジョブスタート事業 ・参加企業を対象に、効果的なプレゼンテーションの仕方や企業のPR映像の作成などの研修会、市内企業の魅力ある職場のPRや個別相談、企業の若手従業員との交流などを実施する。 | 地元の参加企業数 ／15社 (平成31年) |
| ワーク・ライフ・バランスとキャリアデザインの推進による雇用創出事業 ・若者の人材育成などに積極的な企業の登録制度の新設や人づくりゼミナールの開催、企業の問題に応じた専門員の派遣などを行い、企業のワーク・ライフ・バランスの推進を図るとともに、地元高校生、札幌圏の大学生、若手従業員が企画・運営するジョブスタート事業の開催や企業の魅力を発信する冊子と動画を作成し活用することで若者のキャリアデザインを推進する。 | 市内の就職人数 ／409人 (平成27年) →450人 (平成31年) 地元高校から市内企業に就職した割合 ／20.4% (平成27年) →65.4% (平成31年) 地元の参加企業数 ／15社 (平成31年) |

基本目標2 新しいひとの流れをつくる

(1) 移住の推進

1) 移住定住の促進

(2) 観光の活性化等を通じた交流人口の増加

1) 観光振興の推進

- ・まちの魅力など様々な情報をホームページ等により発信し、知名度を高めることによる観光客の誘客及び移住定住を推進する。
- ・「すながわスイーツ」を、地域ブランドとして改めて育成・強化を図ることで、地域経済の好循環を生み出し、雇用の増大を図る。
- ・中空知圏域市町や北海道とも連携しながら、インバウンドにも対応した広域的観光事業を推進する。

| 具体的な事業 | 重要業績評価指標 (KPI) |
|--|---|
| 情報発信による観光振興事業 ・動画などを取り入れたホームページのリニューアルを実施し、スマートフォンへの最適化や検索機能の拡充、多言語化など、閲覧者の目線に立った機能の向上を図る。 | ホームページアクセス件数 /254,000件 (平成26年) →354,000件 (平成31年) |
| 市街地回遊誘導事業 ・砂川ハイウェイオアシス館内に設置したインフォメーションコーナーに、砂川を紹介するパネル等を配置し、来館者に砂川への関心を持ってもらい、砂川への訪問に繋げる。 | まちなか観光施設入込客数 /247千人 (平成26年) →260千人 (平成31年) |
| 地域資源を核とした情報発信による観光客誘致事業 ・砂川観光協会ホームページの更新に合わせ、ポータルサイトの構築に官民が連携して取り組み、観光振興のための情報発信を充実させるとともに、フリーWi-Fiのアクセスポイントを公共施設や商店街、個別店舗等に広げることで、来訪者の利便性の向上を図り、観光客の誘客を行う。 | ポータルサイト年間アクセス数 /19,500件 (平成31年) まちなか観光施設入込客数 /247千人 (平成26年) →260千人 (平成31年) |
| 地域資源活用促進事業 ・「すながわスイーツロード協議会」が主体となり、各種イベントの開催や協力、ホームページやフェイスブック、その他パンフレットによる情報発信等を行ない、「すながわスイーツ」の知名度を高める。 | ふるさと納税返礼品「すながわスイーツ」の数 /5,000件 (5年間) |
| 着地型観光プラットフォーム協議会DMO事業 ・中空知管内市町の観光関係のマネジメントの一元化、窓口のワンストップ化等を行ない、中空知全体として観光事業に取り組むため、協議会DMOを立ち上げ、中空知5市5町のほか、エリア内の観光関連事業者の加盟を促進する。 | DMO加盟団体数 /10団体 (平成31年) |
| ふるさと名物「すながわスイーツ」を活用した観光振興事業 ・観光コンセプト策定のための勉強会やおもてなし観光を考えるワークショップを通じて、ふるさと名物「すながわスイーツ」を活用した観光コンテンツの発掘やスイーツの新商品開発などを実施することで、すながわスイーツのブランド力向上を図り、観光客を呼び込む体制を整備し観光振興を図る。 ・広域観光DMOの設立に向けて近隣市町と連携し、各市町の観光コンセプトやブランド力を融合させた魅 | 観光入込客数 /1,234千人 (平成27年) →1,342千人 (平成31年) スイートルード協議会主催事業参加人数 /1,335人 (平成27年) →1,800人 (平成31年) ふるさと納税返礼品「すなが |

| | |
|---|--|
| <p>力的な広域観光の取り組みの検討により、広域観光DMOの設立を目指し、通過型観光から滞在型観光への移行を図る。</p> | <p>「わスイーツ」の数 ／5,000件（5年間）</p> <p>DMO加盟団体数 ／10団体（平成31年）</p> |
|---|--|

（主な関連既存事業）

- ・観光協会活動促進事業
- ・納涼花火大会支援事業
- ・観光宣伝事業
- ・観光客誘致環境整備事業

| | |
|-----|---|
| DMO | <p>Destination Management/Marketing Organization の略称で、様々な地域資源を組み合わせた観光地の一体的なブランドづくり、ウェブ・SNS 等を活用した情報発信・プロモーション、効果的なマーケティング、戦略策定等について、地域が主体となって行う観光地域づくりの推進主体のことをいいます。</p> |
|-----|---|

3) 高等学校の活性化

1) 地元学校への進学促進

基本目標 4 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

(1) 安心な暮らしの確保

- 1) 医療等の充実
- 2) 健康維持・増進の推進
- 3) 高齢者等の在宅生活の支援
- 4) JR砂川駅のバリアフリー化の検討

(2) 空き家の利活用等を推進した住宅ストックの強化

- 1) 良質な住宅ストックの確保

(3) 広域連携による経済・生活圏の形成

1) 他の地方公共団体と連携した施策の実施

- ・中空知広域市町村圏組合や中空知定住自立圏など、近隣市町と連携するほか、北海道との連携を推進する。

| 具体的な事業 | 重要業績評価指標 (KPI) |
|---|--------------------------------|
| 砂川版生涯活躍のまち (CCRC) 構想の検討 ・東京圏をはじめ大都市の高齢者の移住を支援することで、減少が続く生産年齢人口に代わる労働力、生産年齢人口における雇用の確保を図ることで、人口の増加を目指す。 | 連携自治体数 /3自治体 (平成31年) |
| 中空知定住自立圏「しごとの魅力発信と総合的な就業・移住支援」事業 ・圏域内の“しごと”を圏域創生のための最大の地域資源ととらえ、これらを集約することで、単独の市町では実現できない多様で充実した“しごと”情報として都市部等へ情報発信を行い、圏域外からの有能な人材獲得や人材不足の解消を図る。さらに、圏域内の“しごと”を選択してもらうため、この圏域だからこそ実現できるライフスタイルを提案し、効果的な就業・移住を促進する。また、圏域の学生に対し、地域にある“しごと”の魅力を発信し、圏域内における地元定着を図るほか、就職時におけるUターン促進を図る。 | ワンストップ窓口を通じての移住者数 /6人 (5年間) |

(4) 市民が地域づくりの担い手となる環境の確保